

と も い き 共 生

新春号

2021年1月

Vol.08

社会福祉法人
札幌慈啓会 広報誌

TOMOIKI すべてのいのちに寄り添い、共に生き続ける

新年に向けて2P

- ・施設だより 3P~6P
- ・スタッフ紹介、苦情報告7P
- ・健康コラム、簡単レシピ8P



写真はふれあいの郷入居者様(有志)のマスク制作のようすと寄贈されたマスクです。

新年に向けて



札幌慈啓会理事長
太田真琴

日頃から、札幌慈啓会の事業につきまして、ご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

また、後援会をはじめとする多くの皆様から多大なご厚志をいただき、その温かいご支援に深く感謝申し上げますと共に、今後とも一層のご協力を賜りますようお願いする次第でございます。

近年、少子・高齢社会の進展等により、一人暮らしの高齢者や高齢夫婦のみの世帯の増加など家族形態が変容し、家族内の見守りや介護機能の低下に加え、地域連帯感の希薄化によるコミュニティの脆弱化が危惧されていくところですが、

広報誌「共生」は、平成26年度に発刊し、これまで年1回発行してまいりましたが、福祉を取り巻く環境が変わる中、地域社会の一

員として当法人の活動をより多くの方に知っていただくため発刊を年2回とし、この新春号を発行する運びとなりました。今後も、紙面の充実に努めてまいりますので、ご一読くださいますようお願いいたします。

昨年より新型コロナウイルスが猛威をふるっておりませんが、ウイルス感染は収束と拡大を繰り返し、未だ予断を許さない状況が続いています。当法人では、感染防止に向けて面会制限やサービス利用の調整など、皆様のご理解とご協力のもと対策を講じてまいりましたが、暫くはこの状況が続くと思われ、今後はこのウイルスとの共存を模索していく必要があると考えています。感染を防止しながらご利用の皆様にご満足いただくためにはどのようなサービスが必要なのか、また、どのような対策が有効なのか、適切な情報を収集しながら、施設ごとに様々な工夫を行い、新たな生活様式の確立を目指してまいります。

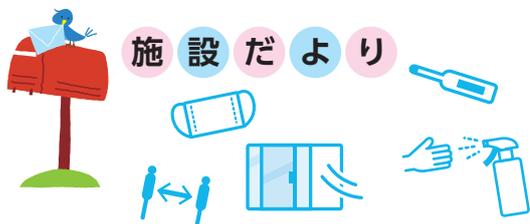
ご利用者の皆様には、ご不便をおかけいたしますが、引き続き職員一丸となってこの難局を乗り越えていく所存でございますので、より一層のご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

最後に、ウイルスに罹患された方々に対しまして、謹んでお見舞い申し上げますと共に、一日も早いご快復を心よりお祈り申し上げます、結びとさせていただきます。

寄贈品

多くの皆様からご支援を賜り、心から感謝申し上げます





コロナ禍における「新しい日常」への取り組み

新型コロナウイルス感染症は私たちの「あたりまえの日常」を大きく変化させました。コロナ禍であってもご利用者様に安心して生活して頂くために何ができるのか、「新しい日常」への各施設の取り組みをご紹介します。

慈啓会養護老人ホーム



当施設では新型コロナウイルス感染症予防対策のため、2月末より面会・外出の制限を実施しております。それは同時に、入所者様にとってはストレスの原因にもなっておりますが、私どもも様々なアイデアを出し合い発散法を考えているところです。

その一つが買い物バスレクの実施で、希望者を募り職員付き添いで西友旭ヶ丘店に買い物に出かけるレクレーションを実施しています。他には、敷地内の散歩を自主的に取り組むことでストレス解消に繋がっております。また、面会方法についても、希望者にはTV電話の活用など、様々な対策を工夫しながら実施しております。一日も早く面会・外出制限の必要がない世の中になることを心より祈っております。



慈啓会ふれあいの郷養護老人ホーム



当施設では、皆様のご理解ご協力のもと、外出や面会の制限を継続しております。いまだ収束の見えぬ状況のなか、施設での生活を少しでもお楽しみいただけてストレスが発散できるよう、行事にも工夫を凝らしています。

ソーシャルディスタンスを確保し、換気を行いつつ「映画会」や「歌の会」を実施。また、ゆったりと飲み物とスイーツを楽しめる「園内喫茶」の開催、11月には「開設20周年」を迎えた記念昼食会にてお好み生寿司の提供を行いました。飲食の会場では参加者を分散して密を回避するとともに、テーブルには仕切り板を設置し感染対策にも工夫をしています。これからも施設全体で力を合わせ、難局を乗り切って行きます。



慈啓会特別養護老人ホーム

当施設では、現在のコロナ禍において様々な制約のある中、対面を避けるよう食事の際の座席配置を工夫したり、行事においても「密」を避けるため、フロアごとに夏祭りや敬老の式典等を実施しております。例年の大規模な行事も大変盛り上がりご好評を頂いておりますが、現在の取り組みも入居者様お一人おひとりの反応を確認することができたり、限られた条件の中で何とか入居者様に楽しんで頂くことと創意工夫する姿が見られるなど、職員の成長の機会にも繋がっているのではないかと感じております。

コロナに対する不安の払拭は容易ではありませんが、下ばかり向くのではなく「コロナ禍においてできること」を考えながら今後も入居者様の笑顔に繋げて参りたいと考えております。



特別養護老人ホーム 札幌市稲寿園

当デイサービスセンターは平均介護度1.7と比較的自立度の高い方々が利用されています。7月より理学療法士が着任したことでストレッチや姿勢矯正、バランス訓練等安全に在宅生活が継続でき、腰痛等に対応できるプログラムがさらに充実しました。三密禁止の中、免疫力アップを目指し皆様頑張ってくださいます。

運動時もマスク着用、レクリエーションの制限：とストレスの多い現状ではありますが、消毒や手洗い・アクリル板の設置等『基本の対策』を徹底し、元氣なデイサービスであり続けるよう努めていきたいと思っております。

入所棟につきましてはご家族のご協力のもとTV面会を状況に応じて行っております。新型コロナウイルスの一日も早い収束を願ってやみません。



札幌市菊寿園



昭和45年9月1日開所の当施設は今年で50周年を迎えました。過去の記録を見ると周年ごとに入居者様・関係者の方・職員とでお祝いをしていた様ですが、今年はコロナ禍により通常の食事ですえ時間差でとって頂いている状況で、宴の席を設けることは叶いませんでした。

施設では、9月2日に「開園五十周年記念食」として、「お赤飯・鮭の漬け焼き・生麩田楽（秋景色）」等をお昼に提供させて頂きました。また、「きのとや」さんに御菓子の詰め合わせを作って頂き、入居者様・関係者の方に配布致しました。写真は、職員・利用者が共同作成したモニUMENTです。折り鶴五千二百二十羽が貼られています。



札幌市拓寿園



自炊施設の拓寿園では、大きな行事は会食形式のものが多く密になるため、コロナ禍ではそのほとんどは中止となりました。それでも食材等を調達する買い物と、健康維持のための運動や脳トレの機会が必要と考えました。月1回大勢で出かけていた「買い物ツアー」は、園の車両に2〜3名ずつ、午前午後で数日に分けて密集を避けて行い、月2回の「介護予防教室」等は園の集会所では手狭なため、隣の屯田福祉会館のホールに場所を移して行っています。入居者様も感染対策を率先して行ってくださり、新しい生活様式が定着してきているようです。



啓明ともいき保育園



コロナ禍における北海道スタイルになり半年以上経過しましたが、保育園の子ども達も年間行事の一部を中止せざるを得ない事もありました。しかし子ども達の節目の行事である運動会や生活発表会は、内容や時間の縮小、観客数の制限を行い、更に発表会は各クラス入れ替え制にして、保護者の方にもマスク着用、検温、換気、消毒等のご協力を頂いて無事終える事ができました。子どもの成長を共有できた事を嬉しく思います。

皆で楽しむと言う保育園ならではの経験や子どもの成長を通して、子育ての楽しさや嬉しさを保護者の方も実感できたようです。



慈啓会老人保健施設

老人保健施設では、コロナ禍であっても利用者の皆様方に楽しんで頂けるよう、フロア単位の分散型で施設内の行事やレクを実施しています。

今年は慈啓会全体での夏祭りは中止となってしまいましたが、やはり利用者の皆様方に縁日で楽しみ、夏の季節感を味わっていただきたいと考え、コロナウイルス感染予防対策の下、老健夏祭りを開催いたしました！

9月には敬老会を開催し、賀寿者の皆様をお祝いいたしました。また、園芸活動として皆様で春にプランターへ植え付けたジャガイモを秋に収穫し、いももち調理レクも行いました。これからも、皆様に喜んで頂けるよう工夫していきます！



慈啓会病院

新型コロナウイルスの状況下、「患者様を感染リスクから守る」をスローガンにして地域医療機関の責務を果たすべく医療サービス提供に取り組んでいます。

安心して受診いただくために、「病院正面玄関でのトリアージ（体温測定・酸素飽和度測定・手指消毒など）」、「感染が疑われる方の専用診察室設置」、「院内ゾーニング設定」、「飛沫感染予防やソーシャルディスタンス対策」、「エレベータの患者様移動とその他運搬の動線分離」を徹底しています。

また、面会禁止が続いていますので、患者様並びにご家族様の不安が少しでも和らぐよう「患者様のお写真と看護師の直筆コメント」や「窓越し面会」を実施させていただきました。もう少し不確実な状況が続くと思いますが皆様方のご協力をよろしくお願い致します。



動線分離の案内



窓越し面会



病院正面玄関



札幌市内の感染状況により、面会制限の内容が変更されている場合があります



スタッフ紹介

こちらのコーナーでは慈啓会で働いているスタッフを紹介させていただきます。

どこかで見かけたらよろしくお願いたします！

慈啓会特別養護老人ホーム

介護福祉士

阿部 浩美

採用：2011.4（10年目）

仕事への思いや将来に向けて

40歳を過ぎてから資格を取り働き始めたので最初は大変でしたが、先輩から一つひとつの業務の意味を説明してもらい仕事がスムーズに出来るようになりました。今は経験を生かして新人の方にアドバイスしていきたいと思っています。

仕事ではご利用者が笑顔になることを考える時が楽しいです。家族と離れて寂しい思いをしているご利用者もいるので、施設での生活を少しでも楽しんで、安心して暮らしてほしいと思っています。

今ハマっていること

1歳の孫と遊んだりファイターズの野球観戦、コロナでライブハウスに行けないので大好きなミクスチャーバンドのライブ配信を観たり、ネットでバンドのグッズを買い集めています。



「あなたで良かった」
落ち込むようなことがあっても、
ご利用者との関りで救われる

養護老人ホーム

生活相談員

山本 一貴

採用：2013.4.1（8年目）

仕事への思いや将来に向けて

入職の頃は早く仕事を覚えようと必死で、課題にぶつくと上司や職場の仲間に相談して助言や協力もらうことで少しずつ前に進むことが出来ました。今はご利用者やご家族から感謝の言葉をもらった瞬間に「少しは役に立てたかな」とほっとします。

心掛けていることは、相手が相談しやすいように、話しやすい雰囲気や態度を作るようにすることです。将来は、ご利用者、ご家族、上司、職場の仲間からも信頼され仕事を任せられる専門職になりたいと思っています。

今ハマっていること

好きなアーティストのコンサートに行くことが楽しみです。去年は星野源やMr.Childrenのコンサートに行くために東京にも行きました。今は行けませんが、また行けるようになる日を楽しみに頑張ります！



人と直接関わる仕事が
しかなかった！

後援会加入の お願い



社会の高齢化が進み、高齢者福祉の必要性、重要性が高まるなか、会員の皆様のご協力、ご支援は慈啓会の運営において大きな支えとなっております。

慈啓会后援会では、一人でも多くの方の新規ご加入をお待ちしております。

札幌慈啓会后援会事務局 TEL:011-561-8291

苦情受付の公表について

令和2年4月～令和2年9月までに、当法人に頂いた苦情等は次のとおりです。貴重なご意見ありがとうございました。

○受付件数：3件

○申出内容：職員の対応・言葉遣い（3件）

○第三者委員会：申出内容について第三者委員会に苦情内容及び苦情解決の経過・結果を報告し、助言等を頂きその後の業務に反映しております。

○受付代表事例：職員の対応品質に係る苦情

○ご意見等：包括の担当職員が上目線で話し、申出人の健康状態への配慮が感じられない。担当職員を信頼していたが自分の非を認めない態度が不信感につながった。

○対応内容：センター長と係長が訪問し、不快な思いをさせたことを謝罪。担当を変更し支援を継続させて頂く。当該職員には自己研鑽に努めるよう指導し、包括で毎月実施している事例検討会などを活用し職員の質の向上に取り組んでいる。

健康コラム

毎日の生活動作!を 意識してみよう!

中央区介護予防センター旭ヶ丘
社会福祉士 黄田 敦子

これからの時期、新型コロナウイルスに加えてインフルエンザの流行も気になります。そして冬だからますます外出が億劫になりますよね…。

心も体も、使わないと元気をなくしてしまいます。いつもの生活を【ちょこっと意識】するだけで、心と体に元気がプラスされます。

冬だからこそ、お家で、元気な春を迎える準備に取り組んでみませんか？

台所deかかと上げ



「洗い物をしながら」
「電子レンジを待ちながら」
行ってみましょう。

真上に背伸びするように、
「1・2・3・4」で、かかとを上げて、
「5・6・7・8」で、かかとを下ろします。
8カウントで10回行ってみましょう。

トイレdeスクワット



「トイレを済ませた後に」
行ってみましょう。

トイレに腰かけるように、
「1・2・3・4」で、しゃがみこみ、
「5・6・7・8」で、立ち上がります。
8カウントで10回行ってみましょう。
※胸の前で手を合わせることで、背中を真っ直ぐにキープすることができます。



野菜プラスで健康寿命もプラス!

施設でもご好評いただいている一品を、冷凍野菜で手軽に、レンジ調理でさらに簡単なレシピに変えてご紹介します!

《茄子の味噌和え》

簡単レシピ

慈啓会特別養護老人ホーム
管理栄養士 田近 あみ

【材料】(1人分)

- ・今回は冷凍なす 片手に乗るだけ (ブロッコリーやいんげんでも◎)
- ・味噌…………… 小さじ2
- ・砂糖…………… 小さじ2
- ・みりん…………… 小さじ2
- ・小ねぎまたは大葉 …… お好みで

【作り方】

- ①野菜はレンジで2分～3分程加熱し解凍する
- ②調味料を混ぜ合わせておく
- ③①の野菜と②を合わせる
- ④③をレンジで30秒程加熱
- ⑤最後にお好みで小ねぎや大葉をのせて完成!

札幌市民の成人では、一日に野菜を約280g摂っています。生活習慣病予防のためには350gの野菜を摂ることが目標とされているのであと70g不足しています。トマトでは半分、胡瓜では2/3本の量です。長期保存が可能な冷凍野菜を取り入れれば使い切る前に傷んでしまう心配もなく、調理済みのものがほとんどなので手軽に野菜を摂ることができます。一日に野菜を一品プラスして健康寿命をのばしましょう!

表紙題字揮毫:「共生」

長谷川白羊 (はせがわはくよう) 書。

昭和4年札幌市生まれ。本名・悦以 (よしつぐ)。法政大学文学部卒。昭和35年山口市羊に師事。平成2年「札幌と書」(札幌市教育委員)に於いて「札幌の書家」百選に選ばれる。平成6年個展開催(於札幌大丸藤井セントラル)

表紙写真:「ふれあいの郷の入居者様」

広報誌「共生」2021年1月 Vol.08

編集発行/社会福祉法人札幌慈啓会

【法人本部】〒064-0941 札幌市中央区旭ヶ丘5丁目6番51号
(慈啓会特別養護老人ホーム1F)
TEL011-561-8291 FAX011-561-8298
<https://www.sapporojikeikai.or.jp>

